

「IgA dominant infection-related glomerulonephritis の臨床的・組織学的特徴及び予後評価」へご協力のお願い

—2000年4月1日～2015年3月31日までに当科において腎生検を受けられた方へ—

当院では「IgA dominant 感染症関連腎炎についての観察研究」を実施しています。当施設のみでの観察研究です。具体的な内容は以下の通りです。患者様ご自身のこの研究への登録の有・無については主治医にお問い合わせください。

1. 研究の意義と目的

本研究の目的は IgA 腎症と類似の病理所見を呈し、近年先進国の高齢者で報告がなされている IgA dominant 感染症関連腎炎の臨床的特徴・組織所見・予後を明らかにする事です。IgA 腎症と本疾患は治療方針・予後が大きく異なりますが、未だその鑑別は十分に出来ておりません。この解析がその鑑別および予後予測の一助になる事が期待出来ると考えています。

2. 研究の方法

1) 研究対象：2000年4月1日以後に当院にて腎生検を施行した際に研究に関する同意をいただいた患者さんが対象となります

2) 研究期間：倫理委員会承認後～2017年3月31日

3) 研究方法：当院で登録されているデータベース及び電子カルテを用いて検査結果・予後を解析していきます。

4) 調査項目：この研究は、厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を守り、倫理委員会の承認の上実施されます。カルテ及び当院データベースに記載されている以下のデータを収集して行う研究です。改めて皆さまにご負担頂くことはございません。

調査する項目：年齢、性別、尿蛋白、糖尿病、高血圧、肝疾患、身長、体重、尿蛋白、尿潜血、BUN、Cr、Hb、PLT、CH50、C3、C4、TP、Alb、IgG、IgA、IgM、腎組織所見、ステロイド使用の有無、ACE-I、ARB 使用の有無、予後（sCr 推移・透析症例・死亡症例・フォロー期間）、感染歴の有無、感染部位、起炎菌

5) 情報の保護：調査情報は当院腎臓内科で厳重に取り扱います。電子情報はパスワード等で制御されたコンピューターに保存します。調査結果は個人を特定できない形で関連の学会及び論文にて発表する予定です。

この研究にご質問がありましたら下記までお問い合わせください。ご自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお問い合わせください。この場合も診療などの病院サービスにおいて皆さまの不利益が生じることはございません。

<問い合わせ・連絡先>

公益財団法人 田附興風会医学研究所北野病院 腎臓内科 塚本達雄
大阪市北区扇町2丁目4番20号 06-6312-1221